

平成28年3月23日
道路の老朽化対策に関する講演会

千葉県内の老朽化の現状

平成28年 3月23日
関東地方整備局 千葉国道事務所
道路構造保全官 鈴木 彰

千葉県道路メンテナンス会議

■ **地方公共団体の三つの課題(人不足、技術力不足、予算不足)**に対して関係機関の連携による検討体制を整え、課題の状況を継続的に把握・共有し、効果的な老朽化対策の推進を図ることを目的に、「**道路メンテナンス会議**」を設置

○主な検討・調整事項

- ・研修・基準類の説明会等の調整
- ・点検・修繕において、優先順位等の考え方
- ・点検・措置状況の集約・評価・公表
- ・技術的な相談対応 など

千葉国道(会長)
千葉県(副会長)
千葉市(副会長)

ニーズ把握
情報提供
助言・支援

千葉県内53市町村など
の県内道路管理者

■千葉県道路メンテナンス会議の実施状況

会議開催 <H26・27年度:6回開催>

- 第1回(平成26年5月26日)
- 第2回(平成26年10月15日)
- 第3回(平成26年12月24日)
- 第4回(平成27年 6月 4日)
- 第5回(平成27年 8月26日)
- 第6回(平成27年12月22日)

- ★ 取組方針の確認
- ★ 点検計画の取りまとめ策定
- ★ 跨道橋・跨線橋の調整
- ★ 一括発注の調整
- ★ 点検研修案内・技術情報提供等



会議の状況

■当該会議における具体的な支援事例

～橋梁合同点検～

- ①実施日 平成28年2月3～5日
- ②要望自治体に対し、橋梁点検を合同で実施し、点検時のポイント、記録方法等技術的支援を実施。



合同点検の状況

～千葉県橋梁点検研修会の開催～

- ①開催日 平成27年12月15・16日(2回開催)
- ②対象者 当該会議を構成する市町村職員(実務者)
※2回で93名参加

③研修概要

(午前 講義形式)

- ・点検に必要な基礎知識(法制度、橋梁構造の基本、損傷の種類等)
- ・橋梁点検のポイント等

(午後 現場実習形式)

- ・実際の橋梁にて、高所作業車を使用した近接目視点検
- ・橋梁の健全性を確認する為の試験を体験



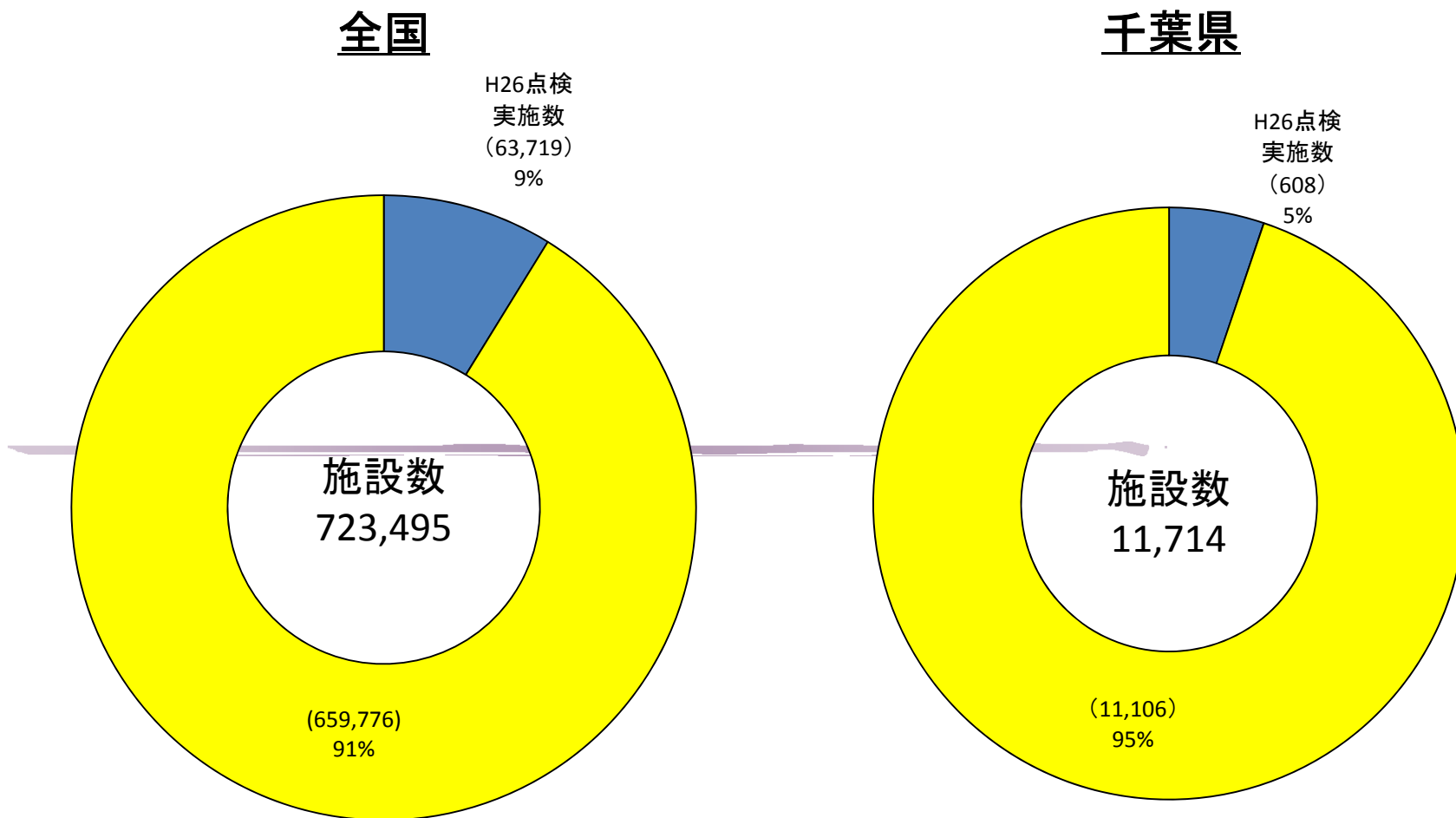
基礎知識等の講義状況



近接目視点検の状況

千葉県内の老朽化の現状

◆橋梁点検実施数

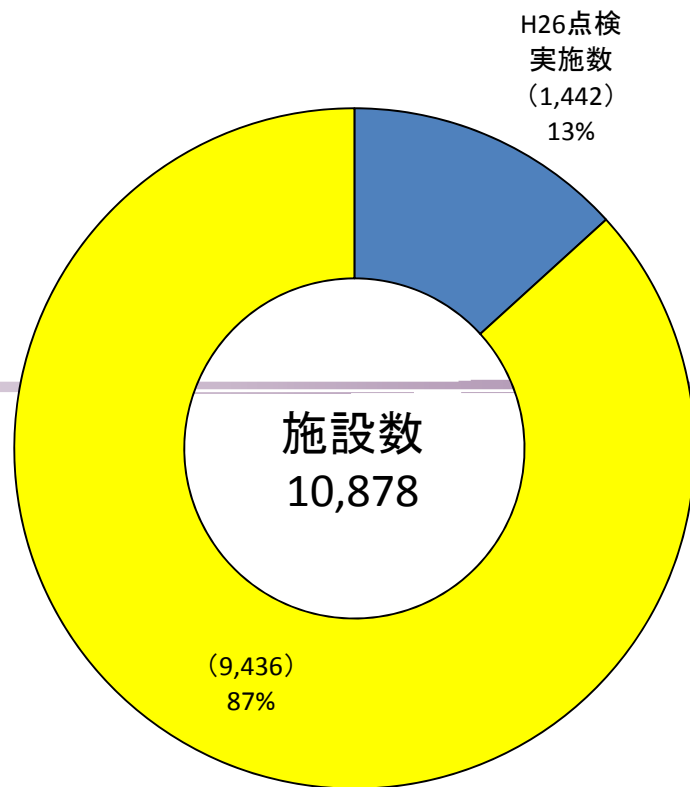


出典: 2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より

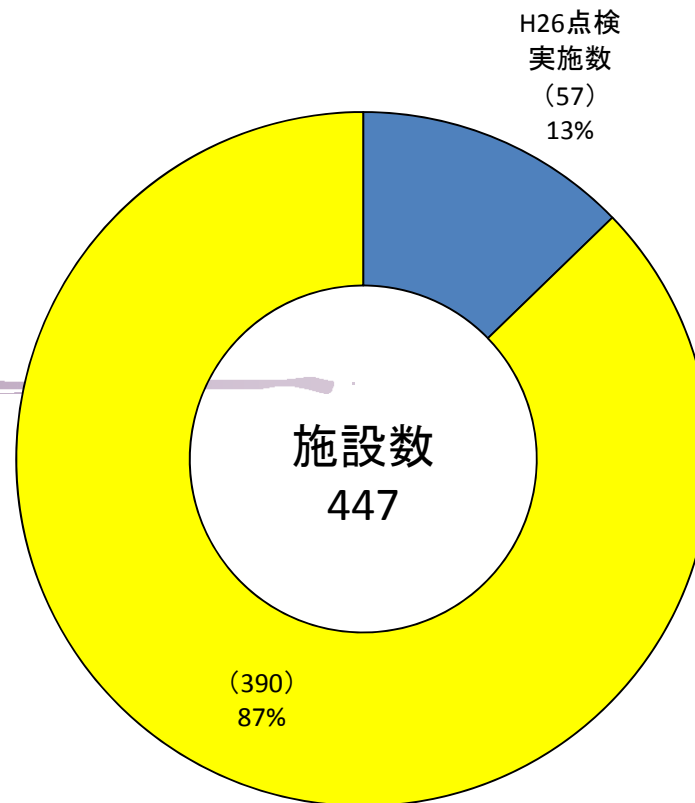
千葉県内の老朽化の現状

◆トンネル点検実施数

全国



千葉県

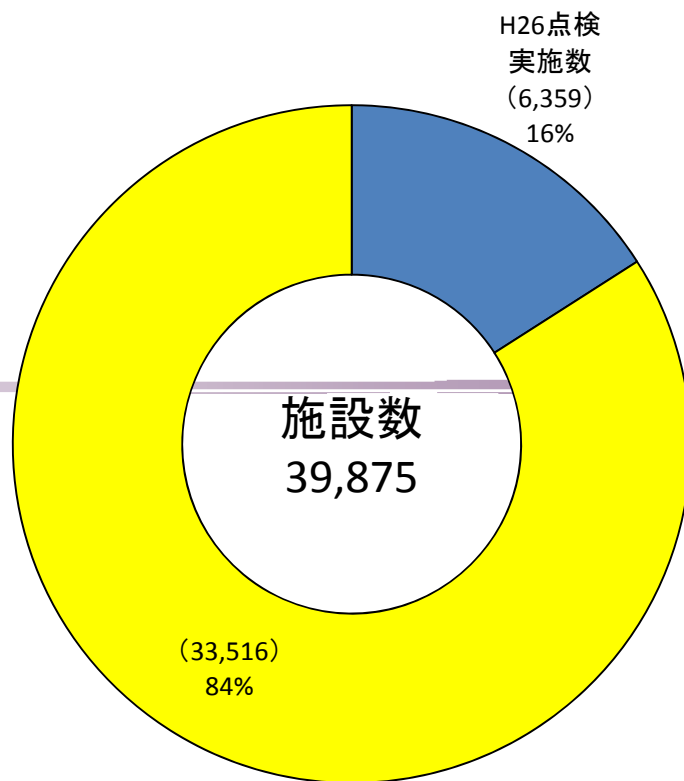


出典: 2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より

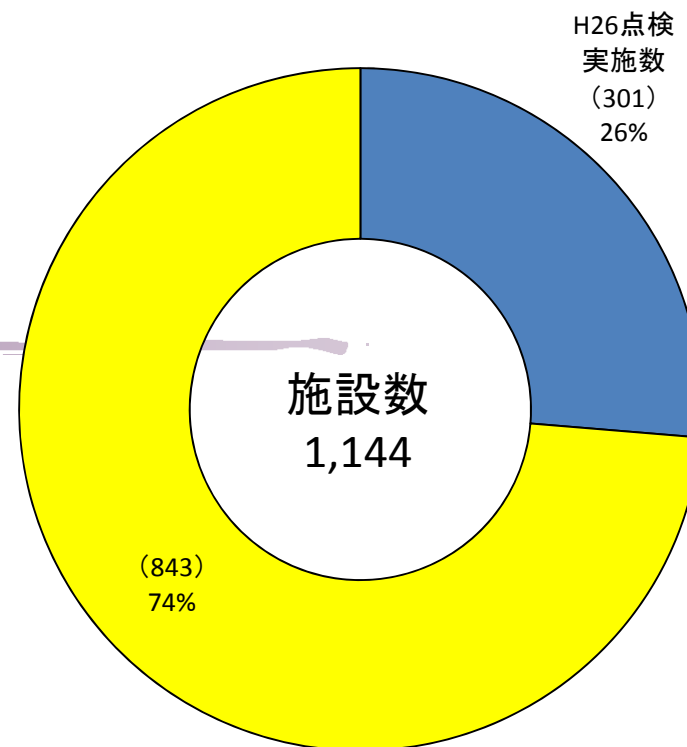
千葉県内の老朽化の現状

◆道路附属物等点検実施数

全国



千葉県

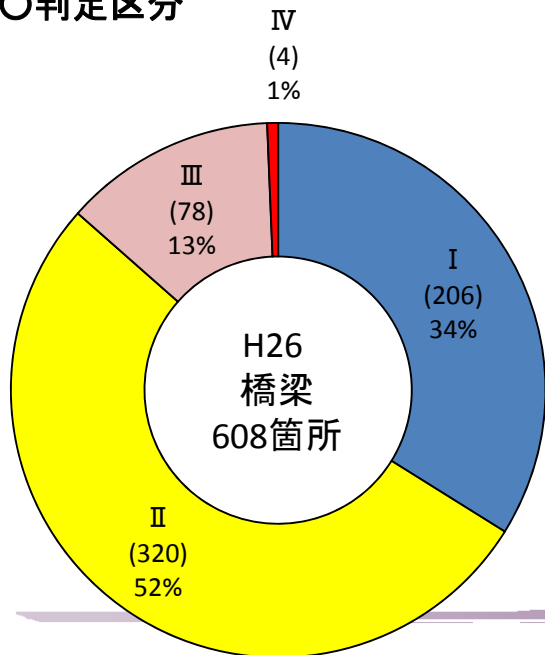


出典: 2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より

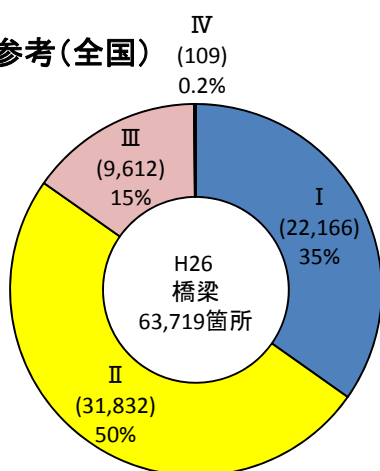
千葉県内の老朽化の現状

◆ 橋梁判定結果

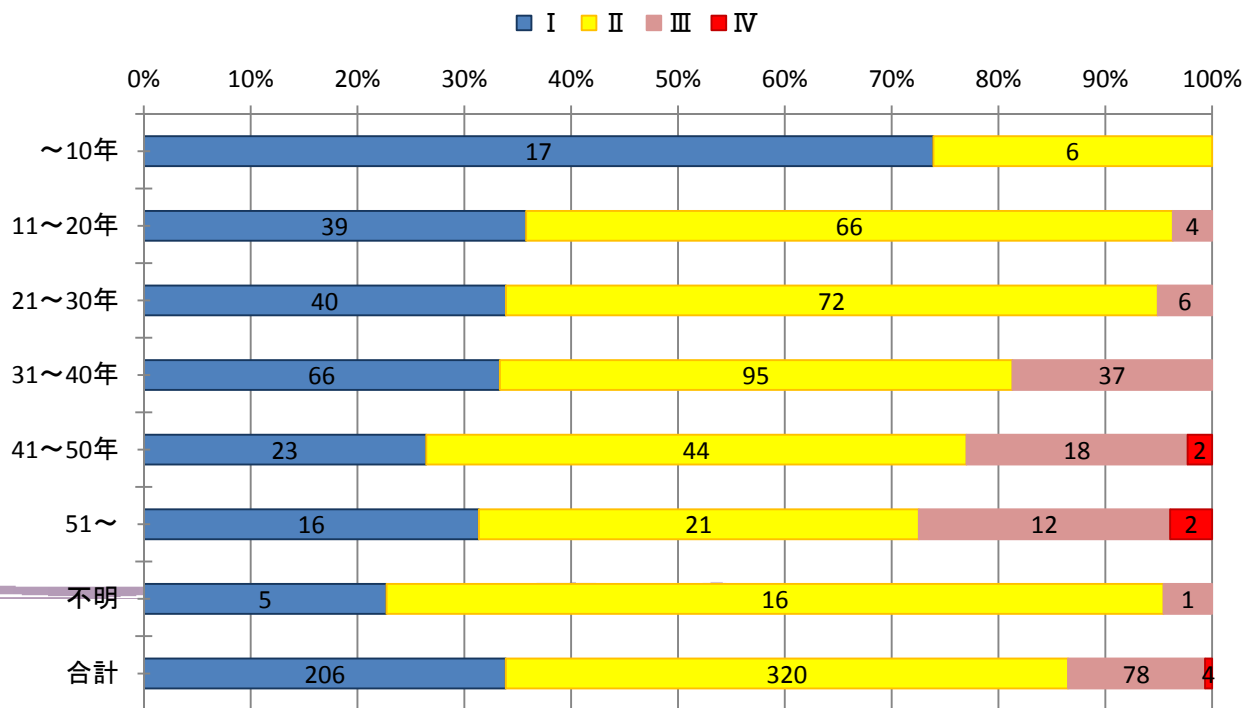
○判定区分



○参考(全国)



○判定区分と建設経過年度



区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

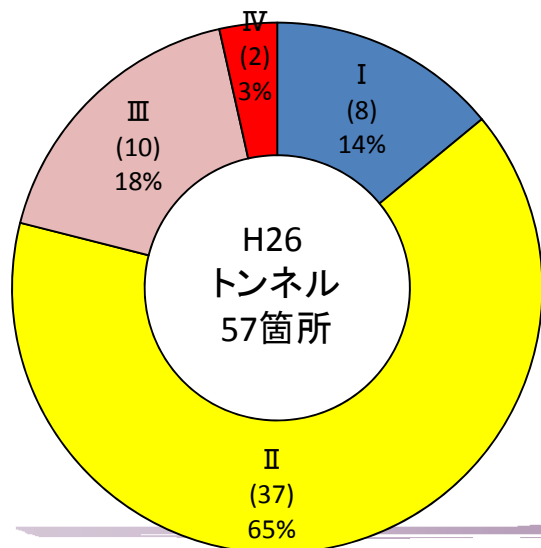
出典: 2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より

千葉県内の老朽化の現状

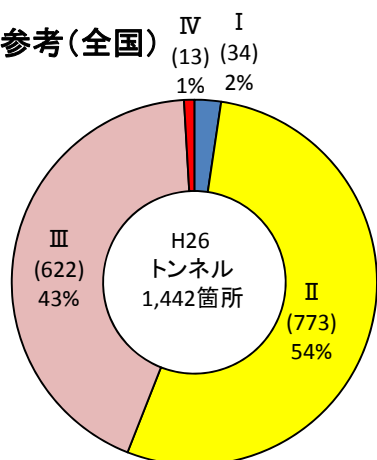
◆トンネル判定結果

○判定区分と建設経過年度

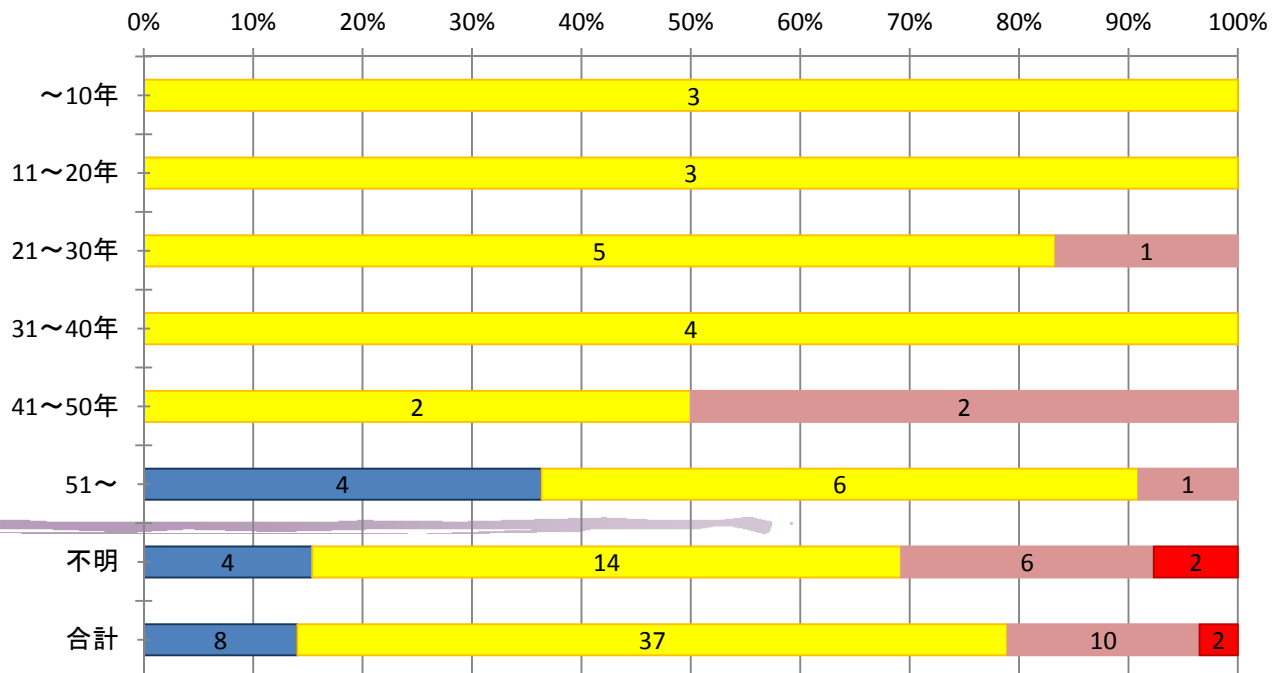
○判定区分



※参考(全国)



■ I ■ II ■ III ■ IV



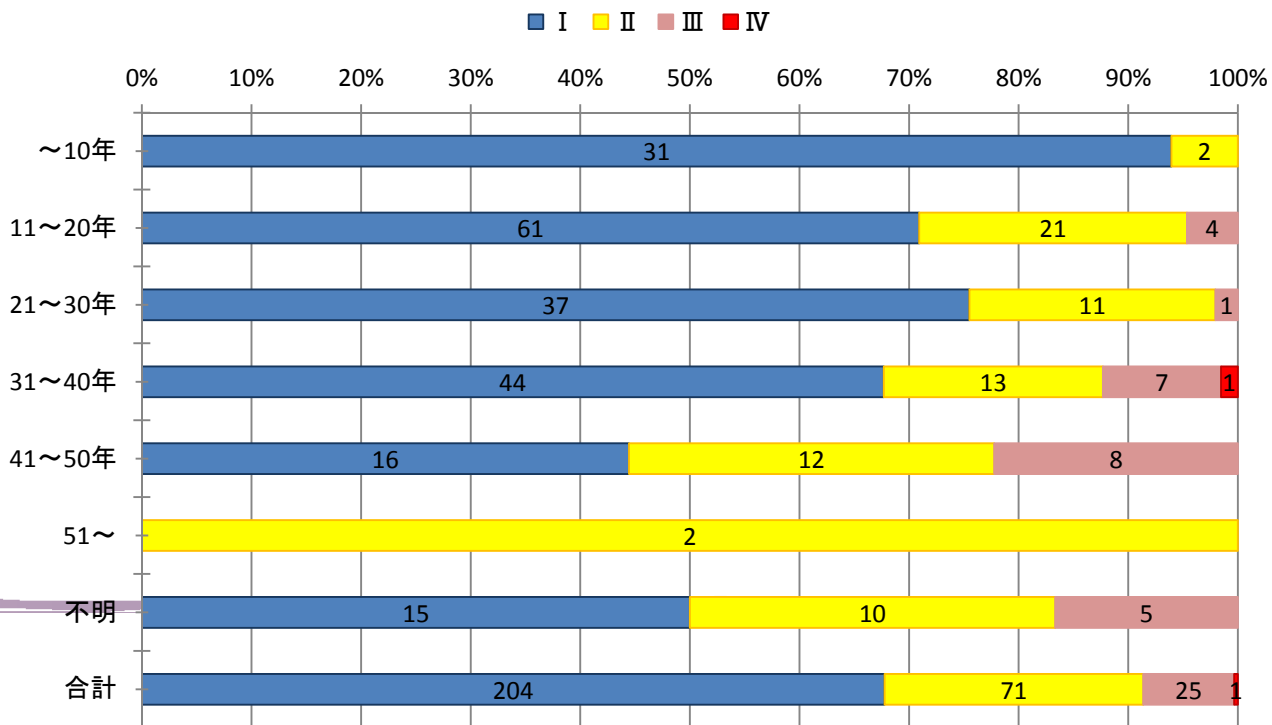
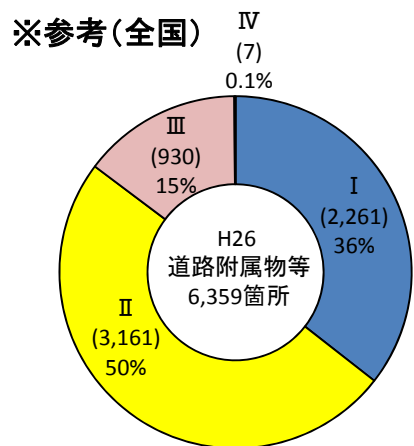
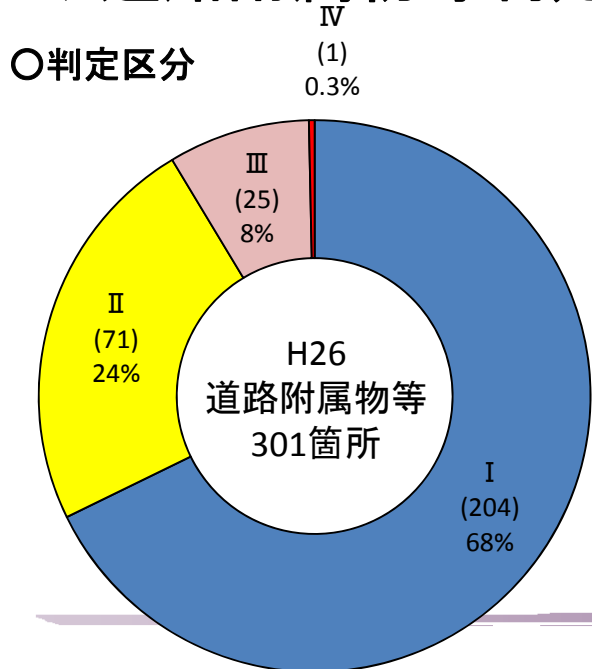
区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

出典: 2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より

千葉県内の老朽化の現状


◆道路附属物等判定結果

○判定区分と建設経過年度



区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

出典:2015, 11, 27 平成26年度道路メンテナンス年報より



ご静聴ありがとうございました。

今後とも老朽化対策へのご理解、
ご協力をお願いします。